

**買い取るっ！「萱瀬ダム」スイリケン
見直そう！福祉資金貸付制度**

神近議員

(1)水確保策の一案として、長崎市所有分の萱瀬ダムの水利権を買い取るべき時期にきているのではないかと。買い取りの可能性について尋ねる。
(2)①市も出資し、社会福祉協議会が窓口となっている福祉資金が底をつきそうだという。盛岡市をは

じめとする自治体を実施し、効果をあげている預託方式(自治体、金融機関、NPOなどが連携して行う貸付制度)を導入し、困窮する市民を救済するべきである。
②保証人不要の貸付上限額(3万円未満)を増額すべき状況である。

水道局次長(1)長崎市は萱瀬ダムのかさ上げ時に約86億円の経費負担をし、1万2,000トンの水利権を所有している。仮にその水利権を買い上げるとすれば、その86億から減価償却費等を引いた額分の多額の購入経費が必要になってくる。また、長崎市においても全体の水需要計画等の中の一つとして萱瀬ダムの水が利用されていることから水が余っているということではない。以上のことから、経費面そして長崎市の実状など萱瀬ダムの水全体の必要度合いの問題等を考えると長崎市が所有す

る水利権を買い取ることはかなり厳しいと言わざるを得ない。
市長(1)本当に大村が水に困ったときは、水利権の許可権者である知事に間に入ってもらって、1万2,000トンの中から3,000トンなり4,000トンなり相談する可能性はあると思う。
福祉保健部長(2)①福祉資金の状況や現状については認識している。今後の対応について早急に協議していく。
市長(2)①生活困窮者に対しては、掘り起こしや適切な相談を行うなど、初期の段階で対応していく。



萱瀬ダム

その中で、貸付制度の問題は早急に対応しなければならぬ問題である。NPOなどが行っている新たな貸付制度などの取り組みなど先進地の状況を調査研究して、何らかの形で対応できないか協議していきたいと思う。

福祉保健部長(2)②社会福祉協議会との検討が必要である。現状を踏まえ、協議を進めていきたいと思う。
(その他の質問事項)
・狂犬病予防注射済票交付手続きの簡素化
・ノラネコ対策
・事業仕分けの大村市への影響と導入の可能性
・市有遊休地の利用計画

**黒木地区の市営住宅建設について
振興公社の自主文化事業について**

恒石議員

(1)市営アパートについて
黒木地区に市営住宅を建設することで、地域の活性化、農業後継者不足や過疎化の解消に繋がると考える。過去数回にわたり、一般質問で取り上げてきたが、進捗状況はどうなっているのか。
(2)振興公社の運営について
シーハットおむら、市民会館を管理運営する

大村市振興公社が実施している自主文化事業は、ジャンルに偏りがあり、演歌などの高齢者に喜ばれるようなイベントが少ない。3月定例会では「アンケート調査等を実施し、さまざまなジャンルに取り組み方向で検討するよう要請した」との回答があったが、その後の経過はどうなっているか。

市長(1)市民のニーズなどについてアンケート調査を行っている。まだ途中の段階であるが自然に恵まれた周辺地域に住みたいという方も幾らかいらっしゃる。過疎化対策からも周辺地域への住宅建設は有効であると考えている。現時点で結論は出せないが、平成22年度には、戸数や建築形態など、ある程度具体的な計画案を作成し、実現可能な方向を目指しながら進めていきたいと思う。
教育次長(2)振興公社の自主事業については、市民のニーズなどを配慮して行



3月に開催される
新沼謙治コンサート

うべきだと思っている。以前から、歌謡曲とか演歌などの分野が少ないという御意見をいただいていることから、振興公社に実施の要請をしていたが、今回、3月22日に市民会館において新沼謙治コンサートを実施するこ

とになった。来年度以降も幅広い方々のニーズに応えることができるよう多様な企画を実施するよう振興公社に対して要請していきたいと思っている。
教育長(2)社会が荒廃しつつあるのは、日本の精神文化が消えつつあるということでは確かである。そういった中で、演歌には日本人の心が入っていると感じている。お年寄りに喜ばれるということだけではなく、幅広く日本人の心、日本の精神文化を取り戻す意味からも考えていかなければならないと思っている。今後、そのような行事を積極的に取り入れるよう働きかけていきたい。
(その他の質問事項)
・事業仕分けについて